

テーマ

歴史・人・自然・もの 未来につなげるESD!

目標

郷土の良さを伝える 地域伝統文化・歴史の啓蒙**今年度の取組紹介**

地域の絆の強さを表す活動は「アルミ缶回収活動」です。この活動は18年前に当時の中学校生徒会の呼びかけで始まり、地域福祉協議会、ボランティア愛歩21、地域住民、学校が一つになり継続して実施し、毎年、その収益金で福祉機器を福祉センターなどに寄贈する取組です。今年は、以前月ヶ瀬診療所におられた藤原先生のご紹介で、南三陸町の公立志津川病院に車椅子を4台寄贈させていただきました。また、地域で行われる体育祭や文化祭、駅伝大会、マラソン大会などを通してスポーツや文化に触れたり、福祉センターの「いきいき講座」への出演や友愛訪問、地域清掃などで高齢者の方や地域の方々とも交流することができました。

さらに、小中合同分団会、保小中合同防災訓練、小中合同 PTA 環境整備作業、保小中梅採りなど保育園・小学校・中学校が連携して多くの取組を実施しました。



アルミ缶回収活動



月ヶ瀬体育祭



月ヶ瀬文化祭

今年度のまとめ

地域で取り組んだアルミ缶回収活動が、国際ソロプチミスト奈良一まほろばで認められ、「学生ボランティア賞」を受賞しました。このことは、今後も継続してこの取り組みを続けていくための力を与えてくれました。また、地域ぐるみの体育祭や文化祭、駅伝大会、マラソン大会への参加により、スポーツや地域の文化に触れ、地域がつながり、「地域の子どもを地域で育てる」体制ができました。

これからも地域の絆を大切に、活性化のために若い世代を活動に取り込むことも必要と考えます。本校区は小規模の地域ですが、ふるさとに誇りを持ち、郷土の良さを伝え、地域の伝統文化を継承することも育成し、地域の取組を発信していきたいと思えます。

来年度に向けて

郷土に誇りを持ち、行動する次世代を育てていくことが大切です。来年度は、若い支援者を広げ、若者が定住できる環境、仕事、活性化の取組を考えていかねばなりません。地域協議会など異年齢の交流を大切にして、話し合いを進め、若者が主体的に考え、行動、発信していける環境づくりが必要です。

テーマ

ふるさとに夢と誇りを持とう

目標

故郷を知る・伝統文化を体験する・故郷に貢献する・故郷の良さを発信する**今年度の取組紹介**

「アルミ缶を回収して、車椅子を寄贈」では、今年からアルミ缶の回収だけでなく、工場への搬入についてもボランティアの方々のご協力をいただきました。また、今年南三陸町の公立志津川病院に車椅子を4台寄贈させていただきました。また、地域で行われる体育祭や文化祭、駅伝大会、梅溪マラソン大会にも参加しました。

さらに、ふるさとを知る取組として、毎年「ふるさと Walk」を実施していますが、今年は嵩・月瀬地区と桃香野地区をボランティアの方に案内していただき、徒歩でそれぞれの地区を巡りました。その他には、職場体験学習、梅干しづくり、地域花いっぱい運動、煎茶道、闘茶会、地域清掃、梅林清掃、世界遺産学習サミットへの参加など多くの活動を通じてふるさと学習に取り組めたと思います。



ふるさと Walk 桃香野地区



ふるさと Walk 嵩・月瀬地区



世界遺産学習サミットに参加

今年度のまとめ

18年間続く「アルミ缶回収活動」や友愛訪問、地域清掃などは地域の支援なしでは続けられません。この活動に対して本年、国際ソロプチミスト奈良一まほろばの「学生ボランティア賞」を受賞し、ますますこの活動の意義や大切さを感じました。また、2年生の職場体験学習では、月ヶ瀬保育園、奈良東消防署月ヶ瀬分署、福祉センターなど地域の8カ所の事業所にお世話になりました。

世界遺産学習サミットでは、梅干しや紅花染めのストール、バンダナ、絵本を販売しました。これらの活動を通してふるさとを知り、ふるさとの良さを発見し、また、ふるさとに貢献できたと考えています。

来年度に向けて

少子高齢化の進む地域ですが、長年地域の子どもたちを地域で支え、支援する体制が整っています。保小中の子どもたちを地域ぐるみで育てる良い環境を今後も継続して構築していきたいと考えます。アルミ缶回収活動も継続して取り組んでいきたいと思っています。また、若い世代の取り込みも今後益々必要になっています。

テーマ

月ヶ瀬のよさを体感させ、地域ぐるみで将来の担い手となる子を育てよう

目標

地域の先輩から月ヶ瀬の魅力を学ぼう。

今年度の取組紹介

本校の取組は大きく3つの柱からなります。「月ヶ瀬の特産に学ぶ」「月ヶ瀬の伝統に学ぶ」「月ヶ瀬の先輩に学ぶ」です。そのすべては地域の先輩方から月ヶ瀬の魅力を学んでいく営みです。3つのうち、2点「特産」「伝統」について述べます。このふたつの取組は本校区にしかない大切なものであり、受け継ぎ残していきたいものです。

特産＝烏梅は、日本で唯一生産し、伝統ある東大寺の修二会に欠かすことの出来ない紅花染めを支える媒染剤作りを通して月ヶ瀬の魅力を学ぶものです。後醍醐天皇以来の歴史の重みと継承者の金銭主義でない尊い思いに触れ、ふるさとへの誇りを大きく育てることができました。若い技術者の方の話にもふれることができたことも大きな収穫でした。



伝統芸能＝尾山万歳・子ども狂言では、地域の保存会や振興会の方々から直に学びました。大切なのは、きれいな形に演じるだけでなく、心を一つにして演じきることで充実感・達成感を味わえたことです。自尊感情が低くなりがちな遠隔地に育つ子らに大舞台での発表と自信を与えて下さる指導者の方々との触れあいやコミュニケーションを通して月ヶ瀬の魅力を深く感じさせることができました。

今年度のまとめ

紹介した取組は、地域で長く育み保護者の期待も膨らむ事業です。少子化にも負けず、明るく元気にすくすくと子ども達は育っています。取組の内容による学びの充実と共に地域の方との温かい交流を通して、コミュニケーション能力の向上や得難い体験と素晴らしい人・ものに触れて生まれ育った地域への誇りと愛着を育むことができました。

来年度に向けて

本校区は地域ぐるみで子どもを育む機運にとみ、学校教育に大変協力的です。こうした地域の方々にも生まれ、見守られながら自尊感情を高めるために「地域の先輩から学ぶ」取り組みを継続していきたいと考えます。この「学び」を大勢の前で発表したり、発信したりすることで自信をもち自己評価を高めるようにしていきたいと思います。